

## 平成30年度 埼玉県立所沢特別支援学校 グランドデザイン



< 学校教育目標（目指す子ども像） > なかま わかる きぼう

< 目指す学校像 > 子どもの立場に立ち 良さを見つけ 可能性を拡げる学校

### <国・県の動向>

「障害者の権利に関する条約」

- ・共生社会、インクルーシブ
- ・連続性のある多様な学びの場

「障害者差別解消法」

- ・合理的配慮の提供
- ・プランA B の充実

### <重点目標>

- ①PDCA サイクルを機能させて学校全体の組織力を高め、教育力を一層向上させる。
- ②カリキュラム・マネジメントを推進し、その時々の本校教育の現状と課題解決に向けた取組を通して、社会に開かれた教育課程づくりに努める。
- ③本校の特徴的な教育実践及び外部機関との連携のノウハウを、市内小・中学校等、地域に発信する。

### <学校・地域の状況>

- ・小中学部単独校としての特色
- ・太田ステージ評価の活用
- ・所沢市（通学区）との連携
- ・児童生徒の障害の多様化
- ・外部機関との連携
- ・進路先高等部への橋渡し

<学校宣言> 私たちは児童生徒一人ひとりの「見て・聞いて・感じている世界」を理解することから出発し、そのニーズに応え、可能性を最大限に引き出す学校づくりに努めます。児童生徒についてチームで常に話題を共有し、特に指導・支援が必要な場合には、全校的な視野で、外部の専門家とも連携しながら対応します。

### <小学部低学年の教育目標>

- ①大人や友だちとの関わりをもち、集団で過ごすことの楽しさを知る。
- ②わかった、できたという経験を通し、興味・関心を広げ、主体的に取り組む。
- ③健康で丈夫な体を作り、自分の気持ちを豊かに表現する。

### <小学部高学年の教育目標>

- ①友だちを意識し、一緒に活動する楽しさを知る。
- ②いろいろな経験を積み重ね、自分から取り組む意欲を育む。
- ③好きなことを見つけ、自信をもって、自分の力を発揮することができる。

### <中学部の教育目標>

- ①人との関わりを大切にし、豊かな心を育む。
- ②自ら学ぶことの楽しさを知り、認識を高め、興味・関心を広げていく。
- ③様々な経験を基に、自分の将来を見据え、社会性を培う。